

# むつみ地区にまつわるストーリー

## 御舟湖物語～ふるさと昔話～

むかし、蔵目喜川の支流に御舟子という集落があり、貧しくも村人は一生懸命に田畑を耕し暮らしていました。ある時、その土地をさきぐる地頭がやって来て「ここを湖にせい」と命じました。村人は泣く泣く刈り入れをやめ、土手を作り、田畑は湖になりました。湖は「御舟湖」と名付けられました。地頭には美しい二人の娘がいました。二人が湖に舟を浮かべ遊ぶ様子を、ひとつ向こうの山に住む老人が眺めていたそうです。

ある日、二人の娘が舟を浮かべ遊んでいると、空が一転にわか曇り、竜巻がおこって娘もろとも天高く舟を巻き上げました。すると老人の住む山から光がさして竜巻は収まり、二人の娘を水面に叩きつけました。その知らせを聞いた地頭がやってきて、村人に娘を捜させますが見つかりません。そこへ山の方から天の音が響きます。「地頭よ、村人の大事な田畑を自分の楽しみのために湖にするとは何事ぞ。ただちに土手を切って、元の田畑にもどすのだ。」土手を切り、湖の水を抜くと、元の田畑が次第に姿を見せはじめました。水が引くと湖の底に、二人の娘の亡骸が横たわっていました。二人の娘の亡骸を見た地頭は、自分の勝手なふるまいに気が付き、村人に謝りました。

村人は二人の娘を葬るお堂を建てました。それから後、御舟子は農作物が豊かに実る地となったということです。



## 御舟湖物語発祥地と田園風景・大内氏関連の遺跡を巡る

- 4 道の駅「うり坊の郷 katamata」
- 5 川平溪谷・博打岩
- 6 千手千眼観世音菩薩像
- 3 御舟湖物語発祥地/御舟子観音堂からの田園風景
- 2 大内義隆供養塔
- 1 竜金淵



## 石州街道と奥阿武十九ヶ村の要衝の地として栄えた吉部市

石州街道の1つの拠点として栄えた市です。勤場という役所が置かれたことによって、たくさんの人や物が集まってきていました。現在でも赤い石州瓦で立派に塗りこめられた町家や蔵がところどころに残り、往時の様子を伝えています。



行程記のうち、吉部「絵図で見る、防長の町と村」より転載 山口県文書館蔵

### 吉部市探訪おすすめトレイル

- 1 吉部八幡宮の大スギ
- 2 雲林寺
- 3 吉部市の町並み
- 4 金波醤油店
- 5 奥阿武宰判勤場跡
- 6 牟禮神社の鳥居・常夜燈
- 7 薬師堂
- 8 清水池・水神様



## 施設のご案内

### むつみの特産品がいっぱい道の駅「うり坊の郷 katamata」

津和野町と萩の城下町を結ぶ道路の中間地点に位置する山間の豊かな緑に囲まれた道の駅です。特産品売場と食堂があり(やまぐち食彩店)、旅の休憩地として、地元製品の買い物の場として親しまれています。またうり坊(子供の猪)の名のとおり、ここでは、地元でとれた猪肉の販売も行っています。



〒萩市大字片俣字門明1244-7  
☎08388-8-0114  
営業 8:00～17:00  
※喫茶、軽食は11:00～15:00  
休 12月31日～1月3日



〒萩市大字高佐下2674-76  
☎08388-8-0808  
営業 8:00～18:00  
※レストランは11:00～14:00  
休 毎週月曜日及び年末年始

### 萩・むつみの恵

むつみ地域の元気な女性グループ「むつみ・キッチンばあ〜ば」が運営。店内の農家レストランでは、むつみ地域等の食材を使った農家女性ならではの心温まるメニューを提供。また、地域の農林水産物やむつみ牧場の牛乳など、こだわり食品を自然豊かな風景を楽しみながらお買い物できます。

### こいこいがんこ村

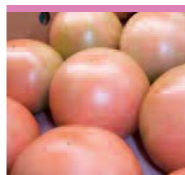
地元の食材で加工した、そば、寿司、コンニャク、豆腐、もち、新鮮な野菜直売。これらを使った料理を味わえます。



〒萩市大字吉部下4738-1  
☎08388-6-0025  
営業 5:30～14:00 ※レストランは10:00～14:00  
休 月・火・木・土 12月31日～1月9日  
(10日が月・火・木・土の場合は変更あり)

## むつみの食

### 「有機農業の里」むつみの自慢の逸品



**山口あぶトマト**  
太陽の光を浴び育つことからツヤがあり、その肉質のなめらかさと高い糖度と酸味の少なさが評判の雨よけトマト。



**千石台だいこん**  
県内シェア1位を誇る「千石台だいこん」。火山灰土の肥沃な土壌で育まれるだいこんは、きめがこまかく糖度が高く苦みがないため、消費者によるこぼれは少ない。



**むつみ豚**  
むつみ豚は、パンを主体とした配合飼料により肉に甘みがあり、サシが多く入っています。一度食べるとやみつきです。



**ぼたん肉**  
道の駅「うり坊の郷 katamata」で買うことができるイノシシ肉。ぼたん鍋にどうぞ!

## むつみ季節暦

春	夏	秋	冬
● 田植え ● 辻山のシダレ桜	● 野田の火祭り(7/14) ● むつみ昆虫王国 ● ひまわりロード(7月下旬～8月) ● 大光寺のホタル祭り(6月上旬)	● 稲刈り(9月上旬) ● 高佐八幡宮 夜神楽(9/22) ● 吉部八幡宮 秋季例大祭(9/23) ● 吉部八幡宮 夜神楽(体育の日前日)	● 雲林寺除夜の鐘(12/31) 雪景色 ● ふるさとまつり(11/3) ● 吉部八幡宮 秋季例大祭(体育の日)

編集 萩まちじゅう博物館推進委員会  
むつみ部会、地元有志  
発行 萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業実行委員会

平成25年度文化庁文化芸術振興費補助金(文化遺産を活かした地域活性化事業) 文化庁 AGENCY FOR CULTURAL AFFAIRS

## 萩まちあるきマップ

# むつみおたからマップ



むつみ地域は、中国山地の山々に囲まれた盆地で、中央を蔵目喜川が流れ、その周辺に集落が点在する農山村です。火山の噴火により生まれた伏馬山や自然の大地を背景に、古くから人が住み、脈々と生きてきた足跡が各所に残されています。盆地を囲む山々には、中世の戦乱の名残を留める山城や大内氏関連の遺跡などがあり、石州街道や阿武郡十九ヶ村の要の地として栄えた名残があります。田園風景とともに暮らしの足跡を感じながら歩いてみませんか。



このマップは萩まちじゅう博物館の各エリアのおたからを紹介するマップとしてシリーズで発行しています。詳しくは萩データベースでチェック!! [machihaku.city.hagi.lg.jp/db/](http://machihaku.city.hagi.lg.jp/db/)

Hagi Machijyu Hakubutukan 萩まちじゅう博物館



# むつみおたからマップ

市道から約300m♪  
足元注意

ここで、片念仏  
頭を流す山道の後河原  
へ流れて行ったとい  
う伝説がある

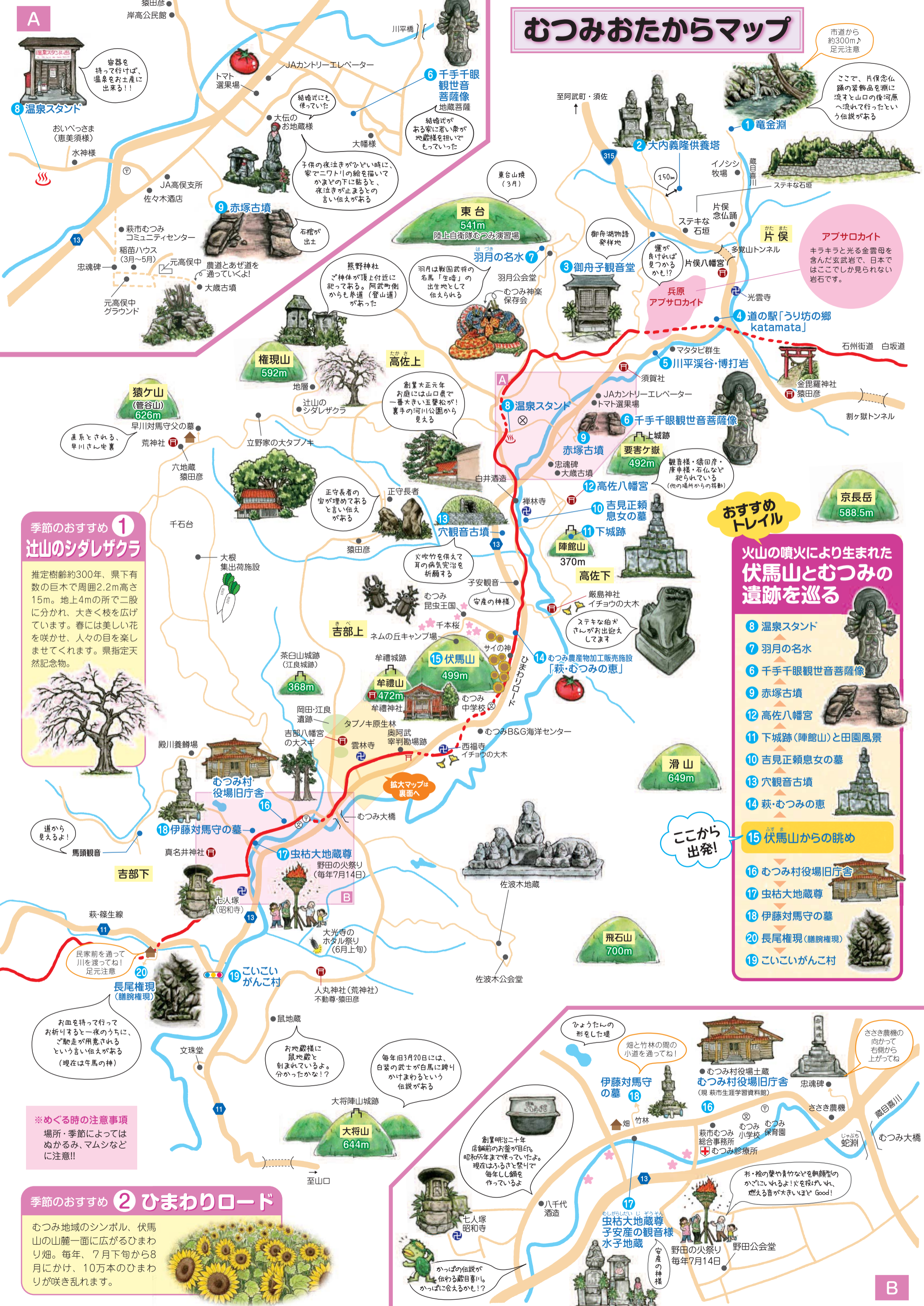
**アブサロカイト**  
キラキラと光る金雲母を  
含んだ玄武岩で、日本では  
ここでしか見られない  
岩石です。

**おすすめ  
トレイル**

## 火山の噴火により生まれた 伏馬山とむつみの 遺跡を巡る

- 8 温泉スタンド
- 7 羽月の名水
- 6 千手千眼観世音菩薩像
- 9 赤塚古墳
- 12 高佐八幡宮
- 11 下城跡(陣館山)と田園風景
- 10 吉見正頼息女の墓
- 13 穴観音古墳
- 14 萩・むつみの恵
- 15 伏馬山からの眺め
- 16 むつみ村役場旧庁舎
- 17 虫枯大地蔵尊
- 18 伊藤対馬守の墓
- 20 長尾権現(膳腕権現)
- 19 こいこいがんこ村

ここから  
出発!



## 季節のおすすめ 1 辻山のシダレザクラ

推定樹齢約300年、県下有数の巨木で周囲2.2m高さ15m。地上4mの所で二股に分かれ、大きく枝を広げています。春には美しい花を咲かせ、人々の目を楽しませてくれます。県指定天然記念物。



道から見えるよ!  
馬頭観音

お血を持って行って  
お祈りすると一夜のうちに、  
ご馳走が用意される  
という言い伝えがある  
(現在は牛馬の神)

**※めぐる時の注意事項**  
場所・季節によっては  
ぬかるみ、マムシなどに  
注意!!

## 季節のおすすめ 2 ひまわりロード

むつみ地域のシンボル、伏馬山の山麓一面に広がるひまわり畑。毎年、7月下旬から8月にかけて、10万本のひまわりが咲き乱れます。



毎年旧3月20日には、  
白装の武士が白馬に跨り  
かけまわるとい  
う伝説がある

創業明治二十年  
店鋪前のお釜が目印。  
昭和55年まで使っていたよ。  
現在はふるさと祭りで  
毎年しるし  
作っているよ

かっぱの伝説が  
伝わる蔵目書川。  
かっぱに会えるかも!?

ひょうたんの  
形をした堤

畑と竹林の間の  
小道を通ってね!

ささき農機の  
向かって  
右側から  
上がってね

お地蔵様に  
鼠地蔵と  
刻まれているよ。  
分かったかな!?

お血を持って行って  
お祈りすると一夜のうちに、  
ご馳走が用意される  
という言い伝えがある  
(現在は牛馬の神)

お血を持って行って  
お祈りすると一夜のうちに、  
ご馳走が用意される  
という言い伝えがある  
(現在は牛馬の神)

お血を持って行って  
お祈りすると一夜のうちに、  
ご馳走が用意される  
という言い伝えがある  
(現在は牛馬の神)

お血を持って行って  
お祈りすると一夜のうちに、  
ご馳走が用意される  
という言い伝えがある  
(現在は牛馬の神)

お血を持って行って  
お祈りすると一夜のうちに、  
ご馳走が用意される  
という言い伝えがある  
(現在は牛馬の神)